

継 続 革 新 型

生産マネジメントシステム導入サービス

自ら進化し続ける、
モノづくり企業へ。



モノづくりの力が進化する、継続革新型企業への変革を。

コスト競争力低下、技能伝承の断絶、叫ばれる日本のモノづくり危機

こうした危機を乗り越えるためには、対策を外に求めるだけでなく、

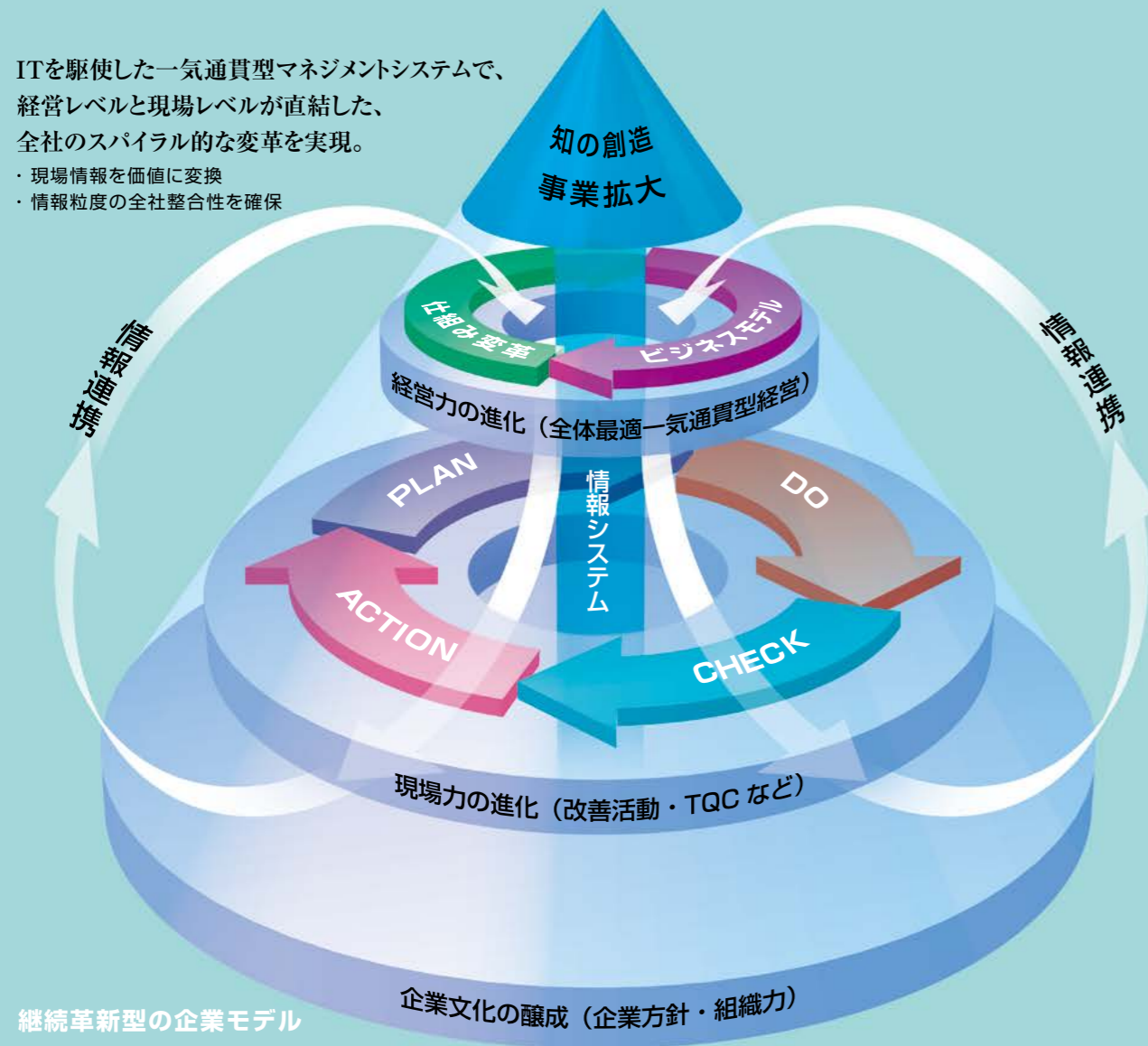
内なるしほみを徹底的に見直し、変革型の企業体質に変わっていく必要があります。

それは、自ら進化し続ける継続革新型企業への変革です。

「継続革新型 生産マネジメントシステム導入サービス」は、“業務プロセスの全体最適化”と“モノづくり現場力の最大化”という

2つのコンセプトによって継続革新型企業へと変革する仕掛けを提供。

経営レベルと現場レベルを直結させ、全社のスパイラル的な変革へと導きます。



継続革新型の企業モデル

“業務プロセスの全体最適化”で省力化・ビジネススピード向上

モノづくり企業に必要な機能を徹底的に洗い出し、業務機能を中心としたビジネスプロセスの全体最適化モデルを実現。「付加価値を生む情報発生源はひとつ」という思想に基づき、発生源自己完結型リアルタイム処理により、再入力のみダマや情報の停滞、入力ミスの発生要因などを徹底的に排除し、業務の省力化・ビジネススピード向上を実現します。

“モノづくり現場力を最大化”する継続的な進化

基準・目標計画主導型の生産マネジメントシステムにより、変化点・異常値を重点管理し、即時是正を実現。基準・計画と実績の差異を即時見える化し、モノづくりレベルの継続的な進化を促します。さらに、現場から発生した情報を経営指標にダイレクトに反映し、全社で共有化することで、現場と経営層が直結したPDCA業績管理を実現します。 PDCA: Plan, Do, Check, Action

業務機能の徹底的な『共通化』と『個別化』で、究極のモノづくりを追求します。

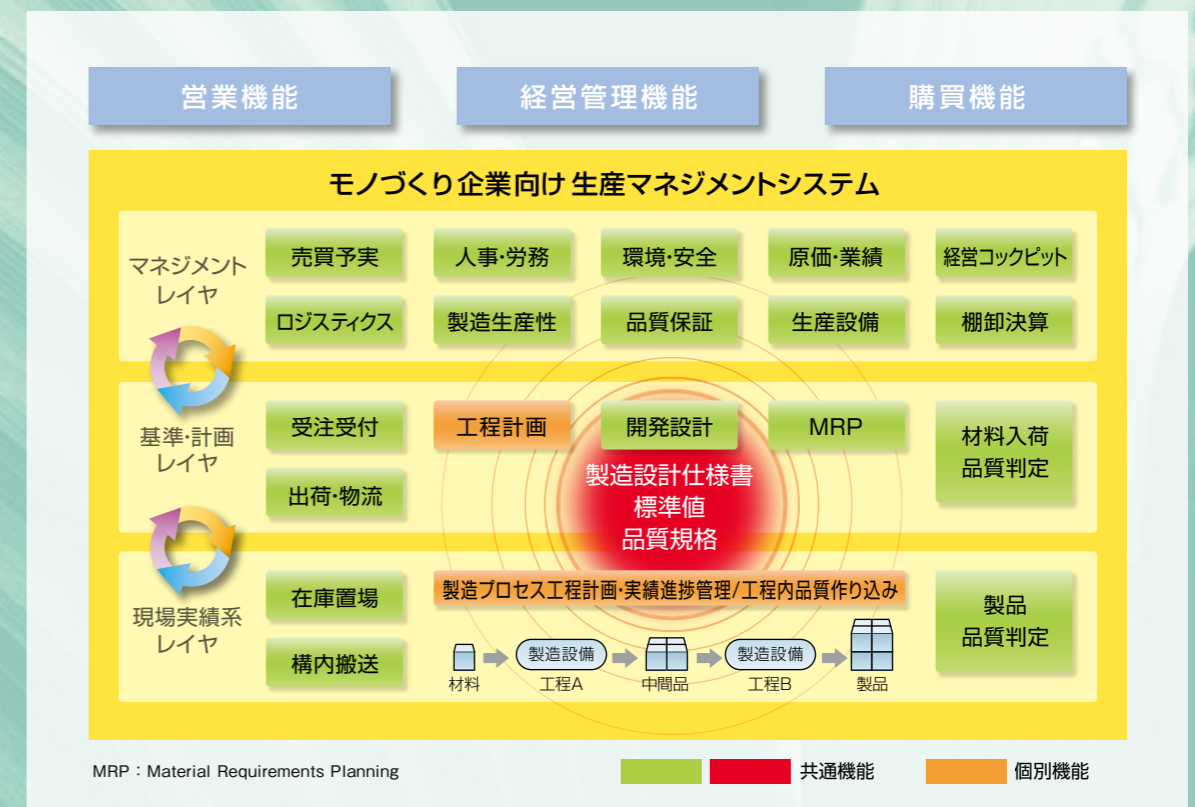
マネジメント系の間接業務を『機能中心の全体最適化モデル』に変革し、ITを駆使した一気通貫型のコンポーネント化を実現。これにより工場・品種ごとに異なる間接業務システムを『全体的に共通化』し、業務の省力化・ビジネススピードの向上に飛躍的に貢献します。一方、モノづくり現場業務では、『品種ごとの個別化』に徹底的に対応し、高品質・高効率化や技能の進化を促し、独自性に優れたこだわりのモノづくりを追求。日立的モノづくりノウハウを結集したテンプレート・モジュールにより、お客さまのモノづくりへの思い入れを早期に実現します。「継続革新型 生産マネジメントシステム導入サービス」では、この『共通化』と『個別化』の両輪で、“究極のモノづくり”を追求します。なお、本サービスは日立グループの実業で培った技術・経験が活かされた商品です。

継続革新型企業に変革するための仕掛け



匠の妙
日立グループの実業で培った技術・経験を活かし開発した製造業向け商品の中で、その導入効果が検証または実証されていることを表しています。

継続革新型の業務モデル



日立の活かしたノウハウを提供し、あるべき姿 [To-Be] に向けた業務改革を誘導します。

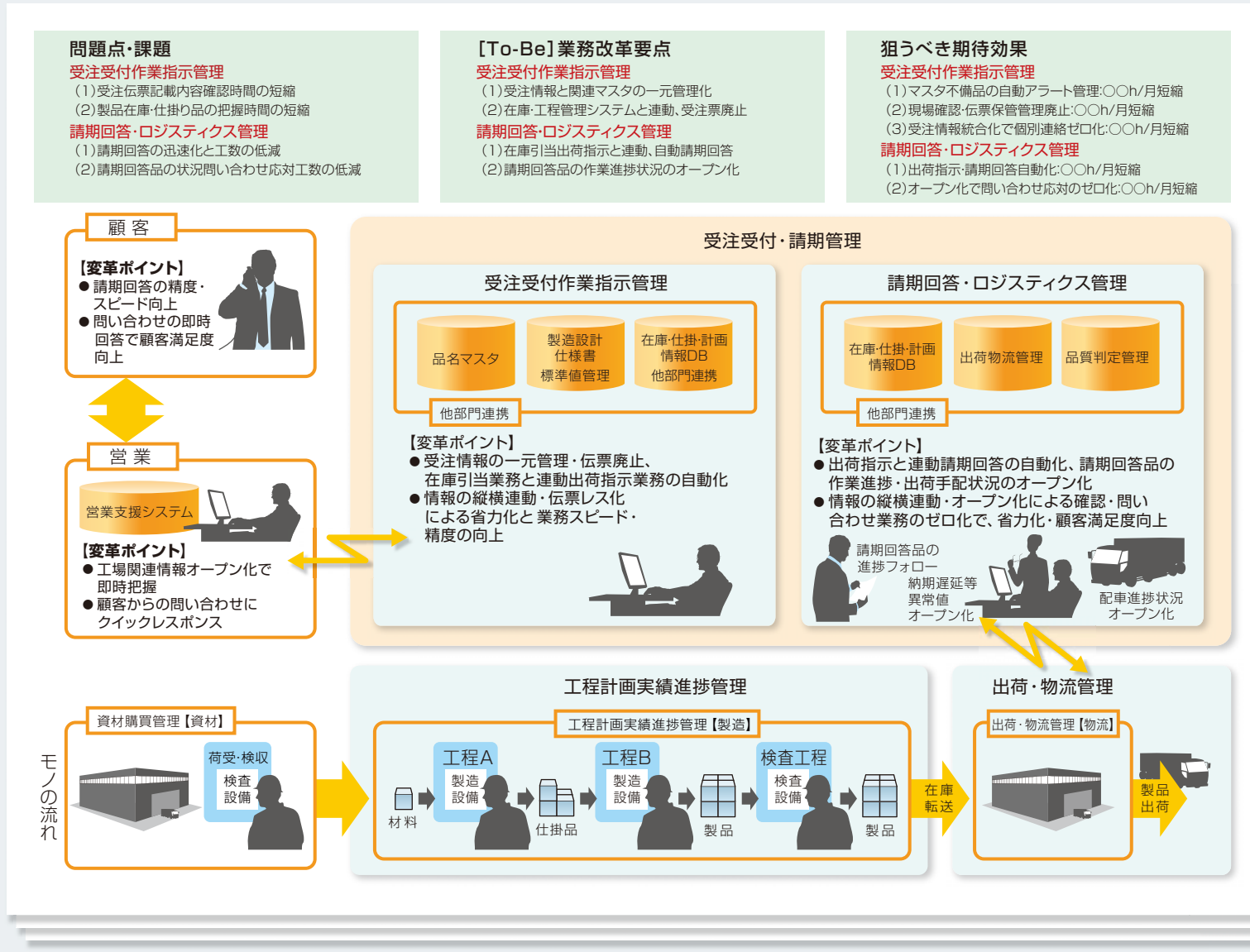
あるべき姿 [To-Be] とは、全体最適化視点からゼロベースで業務機能中心に仕組みを変革した日立独自の業務モデルです。先進 IT を駆使することで、現状業務 [As-Is] の「間接業務の中抜き」と「モノづくり現場のこだわりを徹底追求」します。「継続革新型 生産マネジメントシステム導入サービス」では、この [To-Be] 実現に向けた改革シナリオをドキュメント化した業務機能別の「業務改革グランドデザイン集」を提供し、変革ポイントに対するお客さまの理解を深めていただけます。さらに、共通化業務である間接業務の改革システム構築には、業務機能別の [To-Be] 標準コンポーネント・テンプレートを活用することで、早期化を実現。個別化業務であるモノづくり現場業務の改革システム構築には、標準テンプレート・個別モジュールを活用しながら、お客さまと擦り合わせを行い、製造プロセス管理工程の業務設計を行うなど、[To-Be] 業務改革をトータルに支援します。

業務改革シナリオをドキュメント化した「業務改革グランドデザイン集」の提供。

モノづくり企業の部門・業務機能単位で、問題点・課題と仕組み変革要点および狙うべき期待効果を整理しています。これは、全体最適化視点で業務機能中心に仕組みを変革した [To-Be] 業務プロセスを多面的に捉え、情報・データの発生源自己完結型リアルタイム処理の思想のもと、当該部門・機能の改革シナリオ・実現イメージをまとめたドキュメントです。

● 25業務機能のグランドデザイン集を準備

業務改革グランドデザイン集のイメージ例



【To-Be】に向けた業務改革の例

現状業務 [As-Is]	仕組み変革・業務中抜き
業務区分 (1) 受注票確認 (2) 納期管理 (3) 工程管理 (4) 完成指示管理 (5) 売上計上管理	要素業務区分 1. 受注伝票印刷・出力 2. 在庫・保証期間確認 3. 再検査依頼書発行 4. 製造設計仕様書発行依頼 5. 工程計画表確認 6. 工程進捗現地確認 7. 請期回答 (Tel/Fax) 8. 物流へ出荷指示 9. 出荷問い合わせ対応 10. 倉庫・現場材料確認 11. 工程組み入れ計画 12. 工程変更表配布 13. 完成指示書発行 14. 出荷検査依頼書発行 15. 完成出荷連絡書発行 16. 完成票回収 17. 完成票入力計上 18. 完成票保管管理 19. 売上票入力計上 20. 売上票保管管理
	変革内容要点 (1) 受注伝票の電子化 → 印刷ゼロ化 (2) 保管期間のデータベース化 → 依頼ゼロ化 (3) 製造設計仕様書のデータベース化 → 依頼ゼロ化 (4) 工程計画・進捗のオープン化 → 確認ゼロ化 (1) 在庫引当・請期・出荷指示の一元化 (2) 出荷状況のオープン化 → 問い合わせゼロ化 (1) 工程計画進捗のオープン化 (2) 工程計画即時連動MRP → 確認ゼロ化 (1) 完成票の電子化 → 印刷ゼロ化 (2) 工程計画進捗連動 → 依頼ゼロ化 (3) 品質判定連動・自動完成 → 入力ゼロ化 (1) 出荷連動・自動売上処理 → 入力ゼロ化

あるべき姿 [To-Be]	
業務区分	要素業務区分
(1) 受注票確認	1. 画面で在庫引当、請期設定 ◇ 計画確定・仕掛り引当対象
(2) 工程管理	2. 工程計画・進捗実績オープン化 3. 工程計画連動MRP自動展開
(3) 完成指示管理	4. 工程進捗連動、完成フラグ処理



【継続革新型 生産システム(テンプレート)】

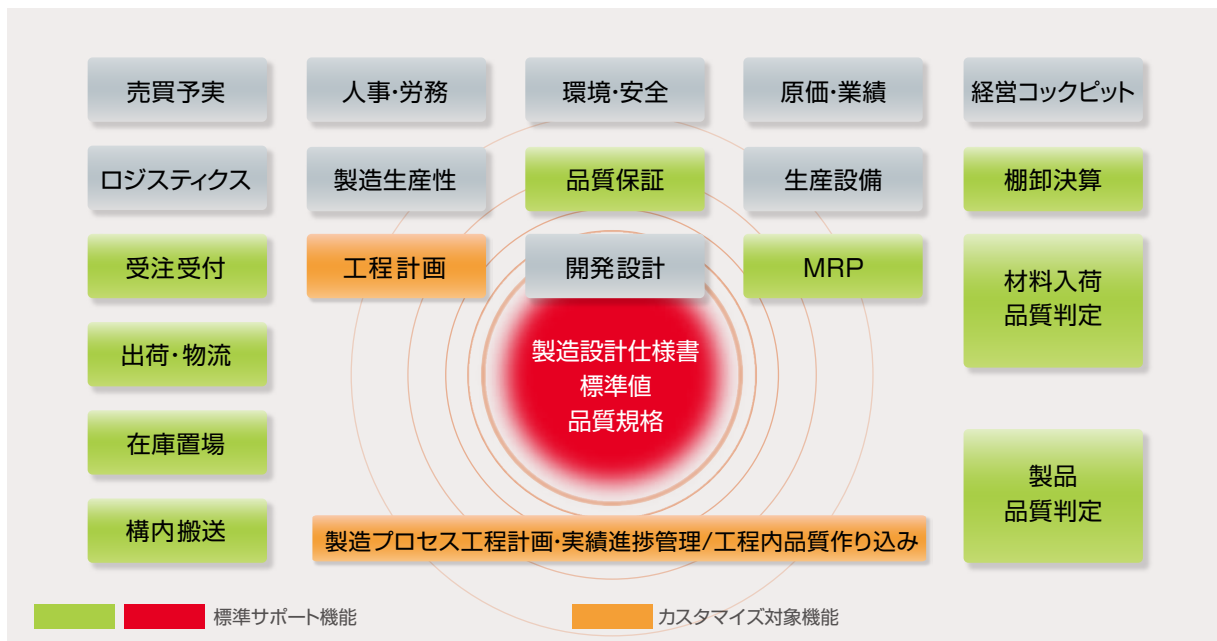
基準・計画と実績の差を即時見える化する、生産マネジメントシステムの提供。

業務機能を「マネジメント/基準・計画/現場実績レイヤ」のPDCAに体系化した各種 Web テンプレートを提供。基準・目標計画主導型のマネジメントシステムにより、基準・計画と実績の差異を即時見える化し、その差を検証してさらなる計画を立案することで、モノづくりレベルの継続的な進化を促します。また、業務処理の画面などは標準コンポーネントと個別モジュールを組み合わせることで容易にカスタマイズできるため、全社整合性を確保しつつ、工場・品種ごとにジャストフィットした生産マネジメントシステムを実現できます。

テンプレート画面例

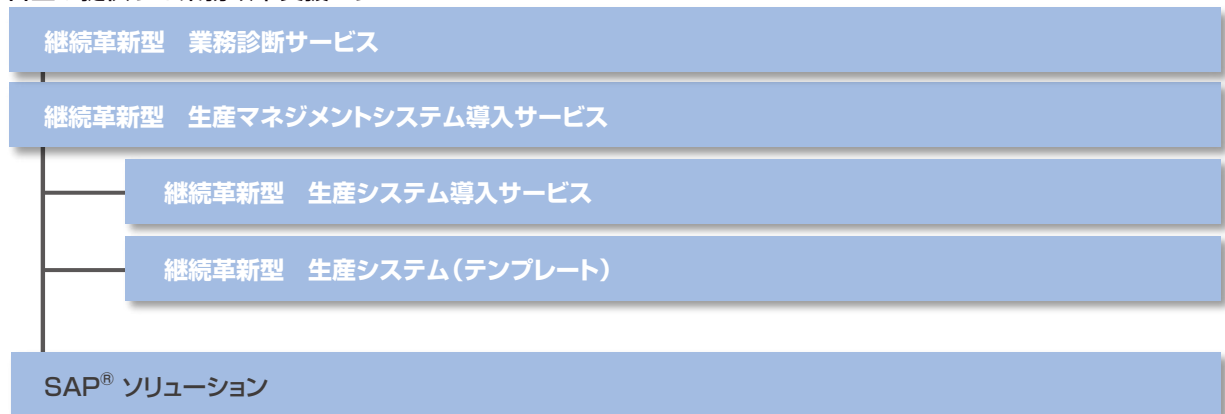


継続革新型 生産システム(テンプレート)のサポート機能範囲



業務診断からシステムの導入まで、お客さまの業務改革をワンストップでサポートします。

日立が提供する業務改革支援ソリューション



・SAPは、ドイツおよびその世界各国におけるSAP AGの商標または登録商標です。
 ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

- 製品仕様は、改良のため変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
 なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト・インターネットでのお問い合わせ
<https://www.hitachi.co.jp/takuminomyou/>

◎ 株式会社 日立製作所 産業・流通ビジネスユニット



本カタログは環境に配慮し、植物油インキを使用しています。

2020.12
 Printed in Japan(H)